



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 株式会社ソフトクリエイイトホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3371 URL <https://www.softcreate-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 林 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐藤 淳 TEL 03-3486-0606
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,654	9.1	3,941	△3.2	4,137	△4.3	2,548	△3.0
2024年3月期第3四半期	20,771	16.3	4,072	20.5	4,323	21.1	2,625	24.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,308百万円 (△8.1%) 2024年3月期第3四半期 3,600百万円 (47.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	101.82	100.80
2024年3月期第3四半期	104.74	103.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	33,289	23,753	60.6
2024年3月期	31,298	21,651	59.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 20,175百万円 2024年3月期 18,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	27.50	—		
2025年3月期（予想）				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.5	5,480	6.0	5,680	6.1	3,450	5.9	137.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	27,550,278株	2024年3月期	27,550,278株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,637,211株	2024年3月期	2,459,877株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	25,025,813株	2024年3月期3Q	25,071,152株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の状況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、企業収益の改善とともに雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も持ち直すなど緩やかな景気回復が継続しました。また、大手企業を中心とした投資意欲が旺盛であるほか、インバウンド需要回復などの前向きな動きはあるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念や長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、企業のECサイト構築需要の高まりや、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA等のDX推進など、企業等の事業拡大や競争力強化に向けた戦略的なIT投資は活発化しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェアNo. 1のECサイト構築プラットフォーム「ecbeing」の提供やECサイトの売上拡大のための施策となるクラウドサービス（SaaS型）の提供を推進してまいりました。そのほか、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景として当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「Safe AI Gateway」の提供や、企業のデジタル変革推進への取り組みに関連した企業内情報システムサービス「SCクラウド」、「X-pointクラウド」の提供を推進するなど、ECソリューション事業及びITソリューション事業の売上拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は226億54百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は39億41百万円（同3.2%減）、経常利益は41億37百万円（同4.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億48百万円（同3.0%減）となりました。

当四半期連結会計期間におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

（ECソリューション事業）

国内市場シェアNo. 1のECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売及びECクラウドサービス「メルカート」の提供や、ECサイトの売上拡大施策となるビジュアルマーケティング「visumo」、レビュー最適化ツール「ReviCo」、オムニチャネル分析ツール「Sechstant」等のクラウドサービス（SaaS型）を提供し、トータルのECソリューションを提供しております。

ECソリューション事業は、ECサイト構築売上高が伸長したことや、ECサイトの売上拡大施策となるクラウドサービス売上高が伸長したこと等により、売上高は122億91百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は30億76百万円（同2.4%減）となりました。

（ITソリューション事業）

当社グループの独自サービスである「SCクラウド」、ワークフローサービス「X-pointクラウド」等のクラウドサービス（SaaS型）の提供をしております。そのほか、セキュリティ・インフラ構築や当社グループが独自で開発したプロダクト製品「AgileWorks」、「L2Blocker」を販売しております。

ITソリューション事業は、クラウドサービス売上高が伸長したことや、セキュリティ・インフラ構築売上高の伸長により、売上高は103億63百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は20億1百万円（同1.7%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産の変動について）

当四半期連結会計期間末の資産合計は332億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億91百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が7億75百万円、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが2億93百万円、投資有価証券が7億90百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の変動について）

当四半期連結会計期間末の負債合計は95億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の減少となりました。これは、主に契約負債が1億80百万円増加したものの、未払法人税等が3億75百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の変動について）

当四半期連結会計期間末の純資産合計は237億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億2百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が12億58百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績は、計画どおりに推移しており、2024年5月9日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,509,151	14,285,077
受取手形、売掛金及び契約資産	5,512,658	5,266,916
電子記録債権	266,801	108,237
有価証券	184	197
商品	259,562	249,990
その他	1,005,695	1,434,266
貸倒引当金	△3,534	△2,827
流動資産合計	20,550,519	21,341,857
固定資産		
有形固定資産	262,422	235,882
無形固定資産		
のれん	—	121,677
その他	1,960,183	2,365,171
無形固定資産合計	1,960,183	2,486,848
投資その他の資産		
投資有価証券	7,034,123	7,824,523
その他	1,498,797	1,408,467
貸倒引当金	△7,774	△7,774
投資その他の資産合計	8,525,146	9,225,216
固定資産合計	10,747,753	11,947,948
資産合計	31,298,272	33,289,805
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,916,940	1,862,159
契約負債	1,671,404	1,851,826
未払法人税等	1,012,193	636,712
賞与引当金	676,464	371,289
その他	2,104,741	2,240,721
流動負債合計	7,381,743	6,962,708
固定負債		
役員退職慰労引当金	801,801	854,706
退職給付に係る負債	926,970	964,495
資産除去債務	67,937	68,239
その他	468,053	685,801
固定負債合計	2,264,762	2,573,243
負債合計	9,646,505	9,535,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	1,932,036	2,127,919
利益剰余金	16,533,240	17,791,584
自己株式	△3,068,372	△3,378,628
株主資本合計	16,251,006	17,394,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,199,587	2,664,814
退職給付に係る調整累計額	153,687	115,342
その他の包括利益累計額合計	2,353,274	2,780,156
新株予約権	441,967	534,393
非支配株主持分	2,605,518	3,044,328
純資産合計	21,651,767	23,753,854
負債純資産合計	31,298,272	33,289,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	20,771,901	22,654,608
売上原価	11,817,768	13,314,315
売上総利益	8,954,133	9,340,293
販売費及び一般管理費	4,881,406	5,398,480
営業利益	4,072,727	3,941,812
営業外収益		
受取利息	485	787
受取配当金	74,379	75,249
貸倒引当金戻入額	187	709
為替差益	28	—
協賛金収入	—	36,592
持分法による投資利益	158,814	85,780
その他	18,078	11,529
営業外収益合計	251,974	210,648
営業外費用		
自己株式取得費用	—	1,120
為替差損	—	165
貸倒損失	106	—
和解金	972	—
損害補償金	—	1,259
上場関連費用	—	12,500
その他	489	0
営業外費用合計	1,567	15,045
経常利益	4,323,133	4,137,414
特別利益		
固定資産売却益	18	—
保険解約戻金	—	24,287
投資有価証券売却益	9,999	112,689
関係会社株式売却益	61,070	—
新株予約権戻入益	628	754
特別利益合計	71,717	137,731
特別損失		
固定資産除却損	1,418	1,436
投資有価証券売却損	—	139
特別損失合計	1,418	1,576
税金等調整前四半期純利益	4,393,432	4,273,569
法人税、住民税及び事業税	1,336,818	1,216,983
法人税等調整額	54,223	173,235
法人税等合計	1,391,042	1,390,218
四半期純利益	3,002,390	2,883,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	376,481	335,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,625,909	2,548,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,002,390	2,883,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	629,681	465,099
退職給付に係る調整額	△31,715	△40,053
持分法適用会社に対する持分相当額	—	127
その他の包括利益合計	597,966	425,173
四半期包括利益	3,600,357	3,308,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,225,362	2,975,041
非支配株主に係る四半期包括利益	374,995	333,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による当第3四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
一時点で移転される財	693,463	2,663,144	3,356,608	—	3,356,608
一定の期間にわたり移転 される財	10,888,845	6,526,447	17,415,292	—	17,415,292
顧客との契約から生じる 収益	11,582,308	9,189,592	20,771,901	—	20,771,901
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,582,308	9,189,592	20,771,901	—	20,771,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,062	135,720	143,782	△143,782	—
計	11,590,371	9,325,312	20,915,683	△143,782	20,771,901
セグメント利益	3,151,472	2,036,149	5,187,622	△864,488	4,323,133

(注) 1 セグメント利益の調整額△864,488千円は、セグメント間取引△85,593千円、その他調整額△11,008千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△767,885千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
一時点で移転される財	556,428	2,844,589	3,401,017	—	3,401,017
一定の期間にわたり移転 される財	11,734,736	7,269,279	19,004,016	—	19,004,016
顧客との契約から生じる 収益	12,291,164	10,113,869	22,405,034	—	22,405,034
その他の収益	—	249,574	249,574	—	249,574
外部顧客への売上高	12,291,164	10,363,443	22,654,608	—	22,654,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,716	125,496	132,212	△132,212	—
計	12,297,881	10,488,940	22,786,821	△132,212	22,654,608
セグメント利益	3,076,830	2,001,944	5,078,774	△941,360	4,137,414

(注) 1 セグメント利益の調整額△941,360千円は、セグメント間取引△85,382千円、その他調整額△3,487千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△852,489千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ITソリューション事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間より、システムワークスジャパン株式会社の株式の取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの発生額は143,150千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	661,089千円	872,130千円
のれんの償却費	—千円	21,472千円